

取扱説明書

受信機専用周波数コンバーター

model FC-965

この度は弊社製品 FC-965 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本器は厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、取扱いを誤ると本器の
性能を十分に発揮出来ませんので、御使用に際しては本取扱説明書をよく読んでから御使用下さい。

概 要

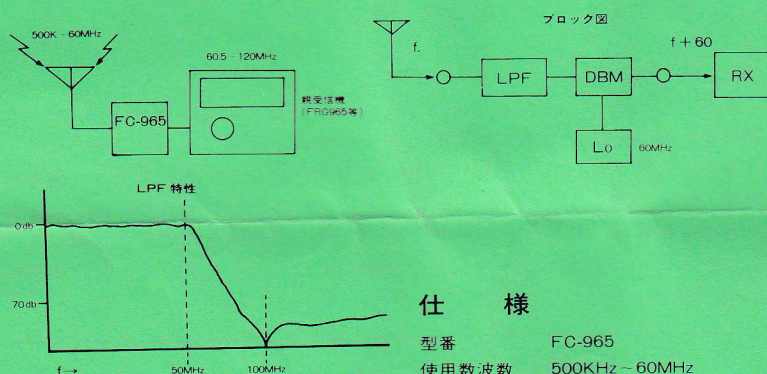
情報化社会の発達にともない、いろいろな受信機が発売されていますが、これ等の受信機では、BCバンドやHF帯が受信出来ないものがあります。

(たとえば FRG-965 では60MHz以下 AR-2001 AR-2002 では25MHz以下)

これらの多機能高級型受信機を親受信機として利用し、0~60MHzを60~120MHzに変換して受信するためのコンバーターです。

BCバンド、ハムのHFバンド、短波放送バンド、CBバンド、その他の500KHz~60MHzの無線バンドの受信にご利用ください。

参考図

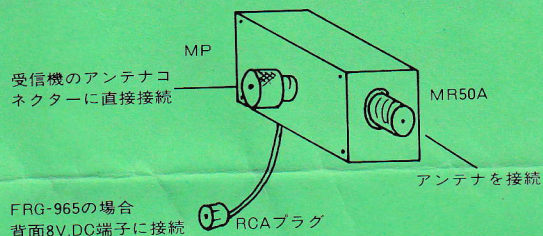


仕 様

型番	FC-965
使用数波数	500KHz ~ 60MHz
電源	8v DC
コネクター	入力 MR50A 出力 MP
外型	40 × 50 × 75
重量	120g

使用方法

本器は特に FRG-965 (ヤエス) には簡単に取付け使用出来る様になっています。
下図の指示の通り接続して下さい。



FRG-965以外の受信機の場合は芯線(●) +8V~12Vを
接続します(⦿ マイナス)。消費電流25mA以内です。

本器を接続しましたら、ダイヤル表示のマイナス 60MHz の電波が受信されます
のでダイヤル表示から 60MHz を引算した周波数が受信周波数です。
たとえば、FRG-965 (ヤエス) に本器を接続して TBS ラジオ (954KHz) 受信す
る時は、ダイヤル表示は 60. 954. 0 となります。又 7MHz を受信するには 7,000
~ 7,100 KHz が 67,000 ~ 67,100KHz に変換され、受信できます。

例	ダイヤル表示	—	60MHz	=	受信周波数	
	60,954	—	60,000	=	954KHz	TBS ラジオ
	67,000	—	60,000	=	7,000	
	65,000	—	60,000	=	5,000	5MHz JJY
	81,000	—	60,000	=	21,000	

使用上の注意

都市地区ではテレビ、ラジオ、ポケットベル、業務用無線、FMラジオ、マイク
ロ回線等、数10KW~100KWの大電力送信の電波が空間にあふれて居ります。
これ等のため、目的以外の信号や放送が受信されることがあります(大電力局
の素通りや混変調入力、イメージ受信など)これは本器の不良ではありません。
又、本器を使用中、そのアンテナのそばで大電力の送信をされると、異なるバ
ンドであっても、本器に過大入力となり破損することがありますので、本器の
使用中の送信は御注意下さい。



株式会社 クラニシ

本 社 東京都目黒区中目黒 1-10-24 共栄ビル 電話 03-793-3311 〒153
大阪営業所 大阪市淀川区木川東 1-1-22 淀川チェリーハイツビル 電話 06-305-0151 〒532